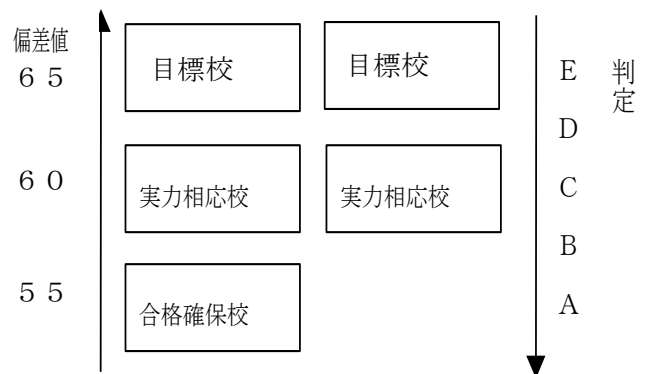


## 併願プランニング～第3弾 ～今の力が、入試当日の力ではない～

26号・28号で併願の考え方について説明しました。加えて、10月24日(木)には、文理に分かれて『受験対策説明会』が開かれました。「現役生は入試当日まで伸び続ける」ので「弱気にならず」目標校を厚めに設定しようという話が、2系統(理系・文系)ともありました。そのためには第一志望校への強い思い・ぶれない高い志が必要です。ただ一人一人、様々な内的外的な要因・環境がありますから全員が同じような併願校設定の仕方を選ぶわけにはいきません。この点について説明を加えたいと思います。

### 難易度に幅をもたせる

同難易度の大学ばかりを受けた場合、全滅する可能性があります。したがって、目標校(チャレンジ校)・実力相応校・合格確保校の3段階に分類して併願校を選定していくのが望ましいといえます。実力相応校とは、模試判定でCを中心にB～Dの出ている大学です。Dというと低い気がするかもしれませんが、競争率の高い大学入試では、かなりの受験生がCやD判定で合格しています(E判定でも合格のケースあり)。合格可能性30%のD判定校でも4校受験すれば、



“少なくとも1校に合格する確率”

$$= 1 - (0.7)^4 = 0.7599$$

つまり、約76%もあります。

(余事象の利用:「共通テスト」数学Aの頻出問題)

E判定中心の大学や、競争率が低いのにD判定が出ている大学は目標校となります。合格確保校(「A判定」あるいは「Aに近いB判定」)については、共通テスト利用方式が、①受験料が安い ②受験の負担軽減、などの面で負担も少なくメリットがあります。しかし、共通テスト本番のマークミスの可能性もあるので、共通テスト利用方式に加えて、一般入試で1校は押さえておいたほうがよいでしょう。

以上3段階の併願校は難易度でいえば、目標校と実力相応校との間は3以上、実力相応校と合格確保校との間は3～5程度の開きをおくのがよいでしょう。

ただし、成績推移による多少の調整も必要です。成績推移が「上昇型」の人はチャレンジ校を、「下降型」の人は安全確保校をそれぞれ増加するとよいでしょう。「不安定型」(アップダウン型)の人は、よく担任と相談してください。浪人覚悟で目標を高く持ちたい人も、一校でも合格した自信は大きいので、安全校も受けることを勧めます(手続きしなれば良い)。私立大では何校でも併願可能ですが、基本的には(共通テスト利用の出願の私大を含め)7～8校程度を目安に、本校の卒業生は受験しています。よく考え、自分の納得できる大学を受験してください。

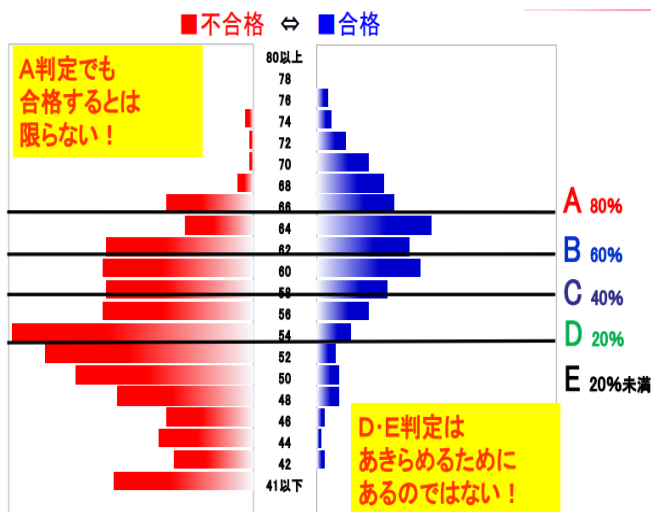
～「受験なくして合格なし」～

# 最後まで第一志望校をあきらめない ～ 模試の合否判定イメージ

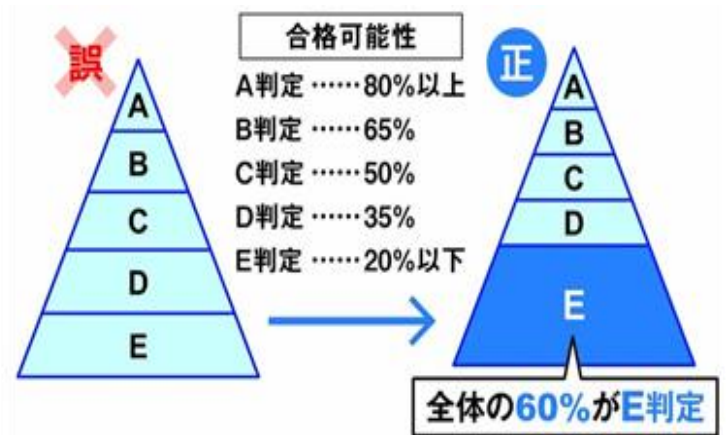
模試判定ランクA～Eまで均等に2割ずつ分布しているという話はよくある誤解です。各ランクの受験者の分布は均一ではなく、実は、E判定がつく志願者は全体の60%に及びます。つまり、志願者の中で一番多い判定がE判定です。D判定なら「下から2番目の下位グループか…」と受け止めるのではなく「勝負できるところにいる」と考えるようにしましょう。D判定でも合格の可能性は十分あるということです。「早い段階でD、E判定で志望大学をあきらめるのはもったいない」のです。

模試の結果には、志願者の数や自身の順位も明記されており、仮にE判定だったとしても、志願者全体から自身の実力がどの程度なのか、立ち位置を確認することが重要です。最後の追い込みで大きく実力を伸ばす受験生も少なくないです。あきらめず、志望校を目指して頑張ってください。

＜駿台模試の場合＞



＜河合模試の場合＞



## 願書(募集要項)の入手方法

共通テストや指定校推薦などでは、学校から願書が配布されますが、一般選抜では願書は各自取り寄せるのが原則です。ここで願書の取り寄せ方を確認しておきます。共通テスト後に慌てて取り寄せるのではなく早めに取り寄せましょう。

- ① 一般選抜の場合は、各自で取り寄せてください。
- ② 進路閲覧室のキャビネットにも大学によっては送付された願書が入っていますが、閲覧用です。持ち出し禁止です。
- ③ 進路室前の廊下の棚に置いてある願書は、自由に持って行ってください。
- ④ 自分で取り寄せる入手方法はいくつかあります。2つあげておきます。
  - ア. テレメール（赤い冊子、まもなく配布予定）で取り寄せる。  
掲載の「取り寄せ方」に沿ってパソコンか携帯電話または、自動音声応答電話から申し込みます。
  - イ. 大学に直接請求する（大学のホームページを参照）
- ⑤ WEB出願の大学が主流となっています。 出願方法にも注意が必要です。  
WEB出願でも大学によって仕組みが違いますので、十分注意してください。

裏面に続く

# ●第2回全統共通テスト模試(7月28日実施)からみる志望動向

## 受験状況

		2022	2023	2024	22/21	23/22	24/23
受験者数		335,130	326,136	327,333	99.6%	97.3%	100.4%
現卒別	現役	309,888	300,144	302,021	98.6%	96.9%	100.6%
	既卒	25,242	25,992	25,312	113.7%	103.0%	97.4%
文理別	文系	175,749	168,807	168,652	97.4%	96.1%	99.9%
	理系	158,433	156,297	156,499	102.1%	98.7%	100.1%
6-8型	文系	87,157	85,190	83,210	100.3%	97.7%	97.7%
	理系	127,152	127,543	127,975	103.3%	100.3%	100.3%

## 志望校記入状況

		2022	2023	2024	22/21	23/22	24/23
国公立大志望者数(頭数)	記入率	219,034	219,693	221,149	102.5%	100.3%	100.7%
		65.4%	67.4%	67.6%			
私立大志望者数(頭数)	記入率	301,532	296,924	299,667	99.4%	98.5%	100.9%
		90.0%	91.0%	91.5%			
私立大延べ志望者数	記入校数/人	1,464,717	1,431,873	1,428,776	97.5%	97.8%	99.8%
		4.86校	4.82校	4.77校			
私立大専願者数		110,542	102,853	102,887	94.4%	93.0%	100.0%
	うち共通方式志望者数	54,506	51,737	54,010	92.3%	94.9%	104.4%

受験者数は既卒生がやや減少しているものの現役生は前年並み。文系・理系別も前年との変化なし。国公立志望者が受験する6教科8科目型では、文系でやや減少したものの1教科増の影響は小さい。

# ●「情報」受験者の成績

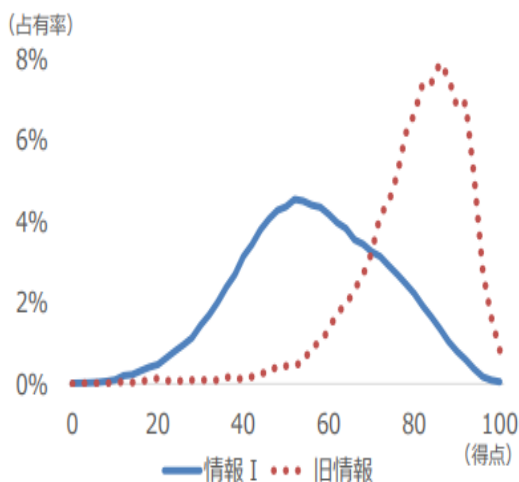
## ●「情報」の受験率推移

第1回(4・5月)      第2回(7・8月)

62.5%      ➡      69.9%

※受験率は全受験者に対する教科「情報」受験者の割合

## ●「情報Ⅰ」「旧情報」受験者の成績分布



## ● 設問別成績

### 情報Ⅰ

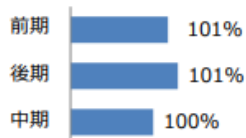
設問	設問内容	配点	平均点			
			全体	現役	高卒	卒-現
1	産業財産権, 論理回路, 基数変換等	20	12	11.9	12.8	0.9
2	デジタル化, プレゼンテーション	30	17.5	17.5	19	1.5
3	移動の最短時間を求めるプログラム	25	13.3	13.3	14.8	1.5
4	ネットワーク, データ分析	25	14	14	15.3	1.3
合計		100	56.9	56.7	61.9	5.2

### 旧情報

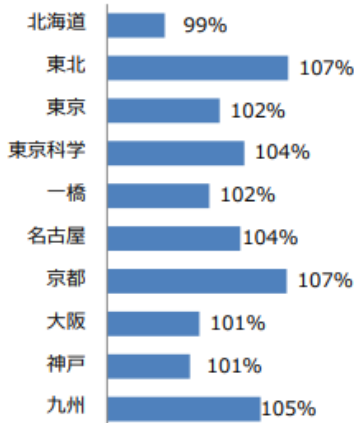
設問	設問内容	配点	平均点			
			全体	現役	高卒	卒-現
1	著作権, 基数変換, デジタル化等	35	25.9	-	25.9	-
2	半加算回路, 回路の置き換え	15	12.1	-	12.1	-
3	プレゼンテーションの実践	15	11.6	-	11.6	-
4	音のイメージに関する考察と応用	25	21.3	-	21.3	-
5	移動の最短時間を求めるプログラム	25	18.1	-	18.1	-
6	種々の情報システム, ネット検索	25	22.1	-	22.1	-
合計		100	80.5	-	80.5	-

# ●国公立大学志望動向（全体・グループ別）

## ● 日程別



## ● 難関10大学別



※数値は志望者前年比 (%)  
※難関10大学別は前期日程で集計

## ● 大学グループ別

	全体			既卒	女子
	昨年	今年	前年比	前年比	前年比
1 難関10大	59,016	60,883	103%	100%	105%
2 文系学部	19,541	20,443	105%	102%	105%
3 理系学部	37,665	38,541	102%	99%	105%
4 その他	1,810	1,899	105%	113%	102%
5 準難関・地域拠点大	50,546	50,092	99%	95%	99%
6 文系学部	21,128	20,752	98%	87%	99%
7 理系学部	26,909	26,793	100%	99%	100%
8 その他	2,509	2,547	102%	87%	104%
9 その他大	108,598	108,624	100%	96%	100%
10 文系学部	47,017	47,077	100%	94%	100%
11 理系学部	51,328	51,814	101%	99%	102%
12 その他	10,253	9,733	95%	84%	94%
13 国公立大計	218,160	219,599	101%	98%	101%

※前期日程で集計  
※準難関・地域拠点大:筑波・千葉・横国・新潟・金沢・岡山・広島・熊本・東京都立・大阪公立  
文系:文・人文・社会・国際・法・政治・経済・経営・商・教育  
理系:理・工・農・医療  
その他:生活科学・芸術・スポーツ科学・学際

©Kawa

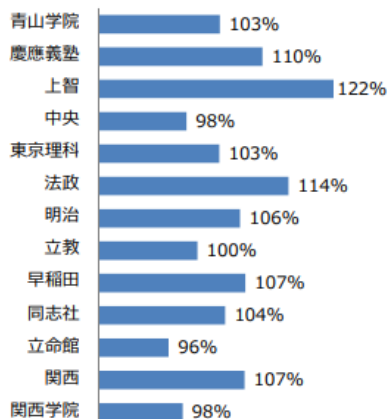
# ●私立大学志望動向（全体・グループ別）

昨年並み

## ● 方式別



## ● 難関大学別



※一般+共通テスト方式で集計  
※数値は志望者前年比 (%)

## ● 大学グループ別

	全体			既卒	地元	女子
	昨年	今年	前年比	前年比	前年比	前年比
1 私立大学全体	1,429,702	1,428,776	100%	95%	100%	99%
2 主要大学グループ	846,323	875,290	103%	98%	104%	104%
3 早慶上理	108,456	118,054	109%	103%	114%	111%
4 MARCH	184,338	192,894	105%	98%	106%	105%
5 日東駒専	101,860	104,560	103%	93%	103%	103%
6 成成明國武	43,309	47,981	111%	101%	113%	111%
7 理系10大学	62,596	64,206	103%	95%	104%	107%
8 女子14大学	23,789	22,241	93%	88%	103%	93%
9 近畿同立	134,711	135,998	101%	95%	100%	101%
10 産近甲龍	74,413	71,726	96%	90%	93%	96%
11 北海学園・北星学園	7,065	6,839	97%	66%	96%	91%
12 東北学院	7,771	7,783	100%	96%	98%	105%
13 その他	68,954	72,272	105%	99%	106%	105%
14 愛知・中京・南山・名城	29,061	30,736	106%	88%	101%	107%
15 その他大学	583,379	553,486	95%	88%	96%	95%

※一般+共通テスト方式で集計

※早慶上理:早稲田・慶應・上智・東京理科 MARCH:明治・青学・立教・中央・法政 日東駒専:日本・東洋・駒澤・専修  
成成明國武:成成・成城・明治学院・國學院・武蔵 理系10大学:千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機  
東北学院:東京農工・東京農業・麻布・神奈川工科  
女子14大学:大妻女・学習院女・共立女・白百合女・実践女・昭和女・聖心女・清泉女・津田塾・東京家政・東京女・日本女・東洋英和女・フェリス女  
関関同立:関西・関西学院・同志社・立命館 産近甲龍:京産・近畿・甲南・龍谷

©Kawakita Educational Institution

## 《現時点の受験生の動向》

- 女子はチャレンジ志向が明確
- 系統人気は文理均衡、国際系回復
- 数年来の競争緩和は一旦足踏み：昨年並み

よりよい進路選択をするために、情報収集は長期的視点で